

R・Flagプロジェクト通信



NPO法人成年後見センターかけはし 神奈川県大和市柳橋2-1-26ウイングシバタ102
HP: http://www.kakehashi-tomoni.org/ E-mail: info-kakehashi@galaxy.ocn.ne.jp
TEL: 046-244-5551 FAX: 046-244-5534



独立行政法人福祉医療機構
社会福祉振興助成事業

第8回 かけはしWAM助成事業 広域における障がい者支援

1月16日(土)、県央福祉社会法人会議室を会場に「地域連携シンポジウムその2」を開催しました。

本会は、NPO法人成年後見センターかけはしの令和2年度WAM助成講演会・研修会事業の第六弾、今年度事業の最後を飾るシンポジウムとなります。

当日は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策の為、会場の消毒、参加者の検温及び衣服消毒・手指消毒、常時換気を行い実施しました。

基調講演

第一部の基調講演は、大阪府高槻市に法人を構



県央福祉社会利用者さんの素敵な絵を表紙にした冊子体のテキスト



松上 利男 氏

える松上利男氏(社会福祉法人北摂杉の子会理事 長写真⑤)。

援サービスの開拓を先駆的に展開されてきたお話はまさに圧巻でした。「施設は、障がい者の権利を守る(とりで)でないだめ!我々の法人は何故存在するのか、何をすべきか?を考え、あくまでもニーズに向き合うこと。潜在的なニーズをどのように掘り起こしていくかの活動が重要なのだ」と。

シンポジウム

今年度2回目となるシンポジウムは、大和・横浜・東京・千葉のパネリストが集結しました。



佐瀬 氏 志賀 氏

司会は、急遽パネリストと兼任してくださった志賀利一氏(社会福祉法人横浜やまびこの里理事)。

パネリストは、志賀氏の他、次の3名。佐瀬睦夫氏(社会福祉法人県央福祉社会理事長)、樋口美津子氏(社会福祉法人嬉泉めばえ学園園長)、松村直道氏(認定NPO法人東葛市民後見人の会理事長)。

第一部の松上氏の講演に共感し、とても良いお話が聴けたと述べた佐瀬氏。県央福祉社会の広範囲に広がる事業所の支援活動は、地域連携が無いと難しい、と日々思う佐瀬氏は、超多忙な職員達をかい支援ができていますか?と問う。

志賀氏は、地域支援マネージャーという国の支援の下、高槻市における支援の取組みのお話をされました。「何もできない人、何もできない人」ではなく、「何ができないのか、どういった支援があればできるのか」を見つけて、利用者と事業所職員が一緒にやってみて考えて実践のお話をされました。



樋口 氏 松村 氏

就学前の子どもの施設であるめばえ学園の園長樋口氏のお話は、幼児教育に携わる方や、子を持つ親へのメッセージにも聴こえました。子どもが自分と周りを理解し自分を伝えようとしていけるように、また同時に、親が前向きに自信をもって子育てしていけるように、と。紙面では書ききれない沢山の愛に満ちた感動的な実践のお話をされました。

10月のエネルギーシユな講演でも好評を得た松村氏は、自身の法人の活動について、今回はその中身を詳しくお話されました。地域の中で行政が対応できないニーズが出てきた時、ネットワークづくり・広域連携が必要になってくる、とわかりやすく講演されました。

今回をもちまして、2018年度より行なわれてまいりました三年間にわたるWAM助成事業は終了いたしました。独立行政法人福祉医療機構(WAM)講師の皆様、参加者の皆様、心より感謝申し上げます。

かけはし代表理事 小川 肇